

市長：あくまで補助金で、市の負担もある。予算編成中なので、さらに検討を深めたい。

※補助制度実施を都に求めていた市の立場からいっても、実施に向けた具体的検討を開始するのが当然だと指摘しました。

《市内産業と経済活発化について》

問：地域の「買い物環境整備」施策に関する、経済産業省のセミナーが1月に開かれる。担当職員の積極的な参加を。

市民生活部長：ぜひ参加したい。

問：農産物等の直売所のニーズ把握調査を。

市民生活部長：年度末に一定の報告をしたい。

安心して子育てできる 高齢者も住みやすい街

日本共産党国分寺市議団 中山 幸子

問＝乳幼児期での重点施策は何か。

答＝親子ひろば事業を中心に子育て不安の解消を一番に考える。

問＝この事業は居場所づくりが中心で、育児相談は全面的には据えていない。今後の課題は。

答＝専門職体制でないため、市民のニーズに対応できない。

★保健師などの体制で育児相談も含めて、施設環境を整え常設に。

問＝新生児への訪問は全戸に切り替えられた。妊婦の早い時期に面接し支援することは重要。

答＝育児不安や母親の悩み解消などへの支援。

問＝H21年は約9割の訪問。全戸訪問事業だから100%にする努力を。

答＝どんなアプローチが可能か検討をしている。

医療・福祉などの前進で高齢者への支援強化を

問＝国は介護保険改正でサービス利用の制限などを計画。保険料の値上げも。市の対応は。

答＝運営協議会委員などの意見聴取をし、市の考え方を整理する。

問＝この間の利用者の声等に寄り添った対応を

答＝消費税等で財源確保を国に要望(市長答弁)

問＝国保の窓口負担軽減等新基準の実施時期は

答＝年度内改正をめどに、対応する。

問＝医療の負担額減額認定証普及に力を尽くせ非課税世帯の何%が受けているか。

答＝わからない。

★この制度は所得1で8千円(月額)に。認定証があると限度額以上は窓口負担がなくなる。

◎第2庁舎スロープの手すりの設置も求めた。

公民館の休館日・住民投票 について

生活者ネット・市民クラブ 星 文明

星) 並木公民館で芸術祭が開催された。10月14日～11月14日だ。11月3日が休館日だった。市民が見学にでかけたが、閉まっていた。5年前から課題となっているそうだが、なぜ改善できないのか。

教育部長) 休日は今まで休館日であったことが当然ということで、改善という視点が抜けていたということだと思う。

星) 地域市民の利用があって成果が期待できる施設だ。11月3日に限らず、休館日を見直す必要があると思うがどうか。

教育部長) これを契機に見直していかなければならないと思う。職員として、何をどうすべきか等も含めてしっかり検討する。

星) 自治基本条例11条に住民投票が規定されている。3項では、その都度条例設置で実現するとなっているが、本市では、2年おきに市長選挙と議員選挙があり、3年に一度は参議院選挙が、その他不定期だが衆議院選挙が行われる。これらの選挙の折りに住民投票に付すべき事件があれば実施できるように準備しておくべきと思うがいかん。

市長) 条例を作ったときは諮問型としたが、常設型との提案だ。考えてみたい。

星) 市政の課題を市民に知ってもらおう観点からも常設型が望ましい。諮問型は、権力者側に有利だ。

市長) 諮問型が権力者に有利との認識は持っていないが、受け止める。

これでよいのか 図書館の図書購入費の削減

市民サイド 釜我 健二

釜我＝市立図書館の利用は過去15年間で60%近く増加しているのに図書購入費は逆に約40%減少している。ひどい実態なので改善を求める。

教育部長＝指摘を踏まえて対応していきたい。

釜我＝IT化と図書館のあり方について「図書館協議会」に諮問し、調査研究を行ってほしい。

教育部長＝提言を踏まえ今年度諮問等を行いたい。

釜我＝公民館の有料化が市民にわかりにくい方法で進められようとしている。もっと市民・議会の意向も踏まえた取り組みをすべきだ。

市長＝使用料・手数料を見直していく。具体的計画についても市民合意で進める。

3・2・8号線の現状と今後の計画は

①釜我＝この道路計画をめぐる国に対しての事業認可取消請求訴訟の現状はどうなっているか。

部長＝23年1月に16回目の口頭弁論が開かれる予定だ。訴訟はかなり詰まってきたと聞く。

釜我＝沿道住民の健康と環境の問題であり、国・都には誠実な訴訟対応を強く求めたい。

②釜我＝先行工事となる立体交差部分(中央線・西武線)の工事着工はいつ頃になるのか。

副市長＝22年度中に中央線との交差部分の搬入路工事に入ると聞いている。詳細は確認する。

③釜我＝いずれにせよ、都に建設工事の詳細スケジュールを早く開示するよう求めるべきだ。

部長＝都に詳細スケジュール提示を強く求める。

④釜我＝この計画道路に伴う下水道設計は、水害対策と深くかかわる。戸倉一丁目は浸水危険地帯もあるので水害を絶対に起こさない設計を。

部長＝きちんと豪雨対策が取れる形で協議する。

市長は任期毎に 政策判断ミスの大実績がある

無党派 甲斐 よしと

市長は市民文化会館、本庁舎の即時建設と市長任期ごとに大きな政策判断ミスの実績がある。今期は北口再開発、市負担ルール分の21億、もしくは最悪36億の追加支出で、副市長の言う「勝負に賭け」で負けた図面に執着することだ。市長の仕事は市民の負担リスクを避けることが本道だ。過去、庁舎建設の責任を問うたが、北口を計画通りに進めることで責任を全うしたい等と詭弁を呈した。それでは今、北口が計画通りとならずや、改めて庁舎の責任を追及したが、再度詭弁を呈し、自らの責任を認めなかった。

＜戸倉通りの歩道、ガードパイプ等について＞
マルエツ～市営グラウンドの歩道は、片側のみで私が子供の頃は歩車平面にガードレールで、車いすどころか傘ですれ違うにも狭かった。後に段上がり歩道に改善。そして今回ガードパイプ設置でまた狭くなった。外して、また付けた根拠を問うたが、的確な答弁はなく、電柱の民地への移設等で、狭あいの解消を求めた。

二小前～光町交差点 安全対策は必要だが、ガードパイプと109個もの点滅灯等で1,783万円だ。市内他にも危険箇所は多い故、一カ所に過剰に行うのではなく、効果的な税の使い方を求めた。

＜弁当外注方式の中学校給食について＞

過去小学生数のピークは現在の小中学生数の総数を上回る。給食調理員数もほぼ同数。単純に考えれば、小学校で作った給食を運べば、中学校でも美味しい給食を食べられる。五中は給食室の増設も可能だ。教育長から調理室2部制の市の例や、研究する旨の答弁がありました。

市政の混乱は リーダーシップの欠如にあり!

民主党・無所属クラブ 木村 徳

木村＝平成11年当時、病時・病後児保育の質問をし、13年に病児保育は実施された。病後児保育実施に向けた検討状況は。業態の多様化に即し、日曜保育の実施もすべきだ。

子ども福祉部長＝医者の確保で難航しているが、予算化はしており、できるだけ早くと考える。

日曜保育の要望は認識しており、長計の後期計画で具体的な方策を検討する。

木村＝犯罪被害者支援対策について、既に6回目の質問だ。現在の検討状況は。

市民生活部長＝検討委員会を設置し6回の検討を重ねている。また犯罪被害者、警察等との面談も行い、取りまとめの段階に入っている。

木村＝いじめの問題は潜在化・陰湿化している。隠蔽もあってはならず、対応マニュアル作成を。

教育部長＝チェックシート等は活用しているが、マニュアル整備等の対応を練っていく。

木村＝職員の意識改革では、民間研修を求めてきたが、講習等で意識改革につなげるとの答弁だった。結果は事務執行上のミスが多発し、違法なストまで起こす実態だ。改めて民間研修を。

市長＝どうしたら可能か慎重に検討したい。

木村＝情報の共有化は、議会・市民が一切知らない駐輪場計画が勝手に進んでいたり、北口再開発も都から難しい旨の指摘を受けながら隠蔽していた。住民投票条例の制定を。また、人件費等にも関わる労使交渉も公開すべきだ。

市長＝住民投票条例は改めて考える。労使交渉は、議員の声は市民の声と受け止めており、その意識で交渉に当たる。(※公開は明言せず)

請願・陳情の提出について

市民の皆様は、市民の皆様の市政に対する要望は、請願・陳情としてどなたでも議会に提出できます。

提出期限や提出方法については、調査担当までお問い合わせください。

調査担当 (内581)